

送迎業務をアナログからデジタルへ。
みんなを笑顔にするソフトウェア。



- 介護業界を取り巻く課題 -

介護送迎の課題～ドライバー

- ・道が覚えない
- ・利用者の顔が似ていて区別しづらい
- ・連絡・共有事項の忘れによるクレーム対応が発生

送迎業務の課題～職員

- ・運転が苦手だと、送迎業務必須は退職理由となる場合も
- ・時短勤務をしたいが、送迎業務があると長時間勤務に
- ・送迎専門ドライバーは介護サポートのスキルが不足で心配

送迎業務の課題～運行計画者

- ・送迎車両の現在地が不明なため、問い合わせには折り返し対応が必要
- ・全員送迎の時間、事務所空になり、電話応対もできない
- ・ドライバーの採用・研修・シフト管理などの業務負担が大きい
- ・急な変更時、ドライバーへ道順など説明時間が必要



- CareDriveが課題解決！ -

地図×独自アルゴリズムで最適ルート！

→ 自動で訪問順を算出

顔が見える送迎サポート・均質実現

→ 写真・注意事項で安心運転

見える化で透明性UP

→ 実績自動記録＆位置共有

DX化でアウトソーシング可能に

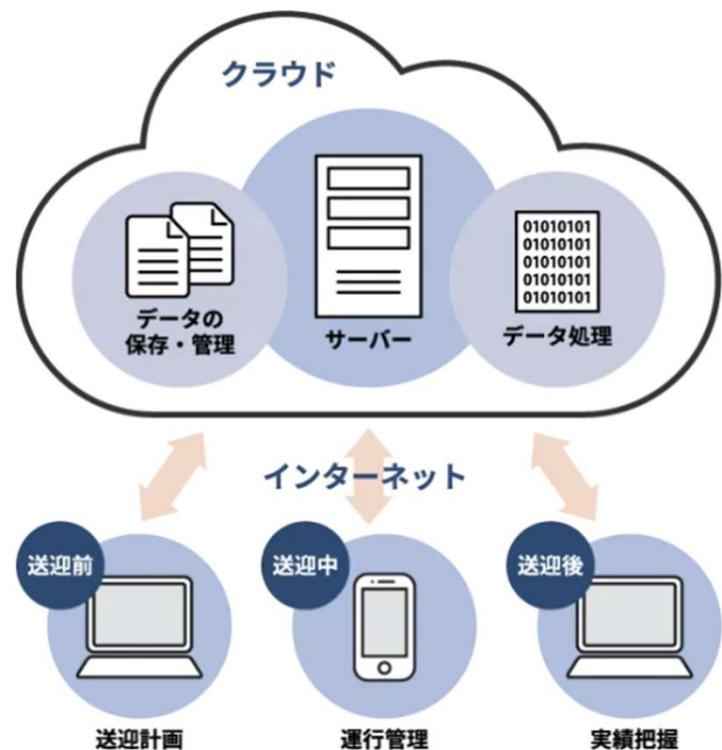
→ 職員は介護・看護に専念

送迎業務をアナログからデジタルへ。
みんなを笑顔にするソフトウェア。



CareDriveのしくみ

- PC上で入力した利用者様の情報をクラウドで保存、管理。
- 独自アルゴリズムにより、最適な送迎計画を自動作成。
- 作成した送迎計画をドライバーのスマートフォン・タブレットで確認し、送迎業務に活用
- 蓄積した送迎実績を基に、日々の送迎日誌の作成や送迎課題の抽出に活用できる



運行管理者様のメリット



効率的な送迎順を推薦して提案

効率の良い送迎順はシステムが自動で推薦します。ルートの選定は人が関与するため、様々な状況・都合を考慮したルート選択が可能です。



送迎表をPC上で簡単管理

定員に対する乗車人数・空きシート数など送迎車両全体を俯瞰して見ることができる。ドラッグ・アンド・ドロップで直感的に送迎表を簡単にカスタマイズできます。



日報作成の自動化

送迎業務がシステム上でデータ化されるため、日報も自動作成することができます。



運転前チェックのスマホ一元化

運転前点検やアルコールチェックを、スマホで行うことが可能。入力完了しないとシステムが利用できない仕様のため、記入忘れ防止も期待できます。

送迎業務をアナログからデジタルへ。
みんなを笑顔にするソフトウェア。



ドライバー様のメリット



無駄のないルート設定

ドライバーにはナビが効率重視で簡単作成したルート・緯度経度で設定された目的地がスマホに表示されるため、道に迷わない運転が可能です。



簡単な操作

ドライバーが送迎時に行う操作は、デイサービス利用者の状況に応じて、スマホ画面を1タップするのみ。急なキャンセル対応も簡単にできます。



情報共有

利用者ごとの注意事項も事前に確認できるため、ミスを防いで円滑な送迎が可能です。

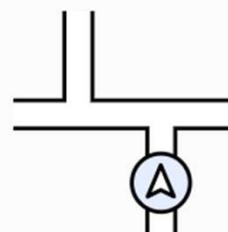


本部管理者様のメリット



送迎車両をリアルタイムに確認

各事業所の送迎車両の状況を、リアルタイムで本部から確認が可能。最大100台まで同時に管理可能です。



ドライバーの走行状況の確認

車両1台毎の軌跡と滞在時間をデータとして蓄積でき、設定した速度以上で走行すると赤いラインで示され、勤務態度・安全運転の確認と指導への活用が可能です。



デイサービス利用者様のメリット



送迎車両の現在地通知（送迎レーダー）

ご利用者・ご家族のスマホで、送迎車両の現在地をリアルタイムで確認できるため、「送迎車の到着が遅いな…」という不安を解消。迎えも送りもどちらも確認できます。



送り便のドライバーの確認も簡単

帰りの送迎時間とドライバーをデイサービスに設置されたモニター等に表示することが可能。「今日は誰が送ってくれるんだい」といった素朴な疑問もデジタルで解消できます。

介護送迎業務の抱える課題と解決方法

これから

専門職が
専門領域に
注力！



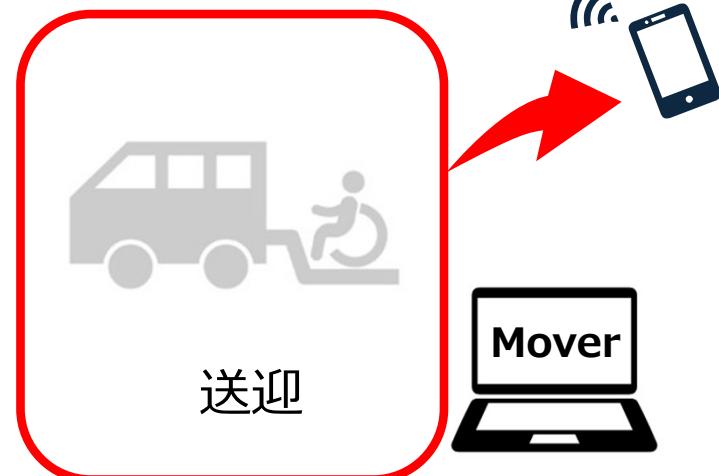
介護



看護・リハビリ



送迎業務を分離可能に



システム仕様

サポートOS	運行管理機能	Windows10,11 ※32bitアプリとして動作、解像度1920×1200推奨
	本部管理機能	Microsoft Edge (Chromium版)
	ドライバー機能	Android9,10,11,12,13,14 ※iPhone未対応
システム関連	システム構成	SaaS ※3306ポートを使用
	送迎表の印刷	Microsoft Excel 2019以降
	地図機能	Microsoft Edge WebView2 ※ https://maps.google.com/maps/api 使用
	メール送信機能	587ポートを使用
	バージョンアップ	手動
	運用管理	TeamViewer15 ※5938ポートを使用

※運行管理機能：お知らせ機能の追加に伴いGoogle Chromeのインストールが必要

未来を少しだけ明るくする
ポテンシャルをもったソリューション

 CareDrive